

感染拡大防止に関するチェックリスト

本チェックリストは、新型コロナウイルス感染症に対する有効な対策が確立するまでの期間、感染症拡大予防対策の徹底と継続が必要であることから、身体障害者デイサービスセンター温水プールを利用するうえで、遵守すべき基本事項をまとめたものです。

実施にあたっての留意点

1 事前の検討事項

- 飛沫感染、接触感染を防ぐための徹底した対策を行う。
 - ・ お互いの距離をできるだけ2m（最低1m）あける。
 - ・ 定員を最小限にする。
 - ・ 開催頻度の縮小や時間短縮などを行う。
 - ・ 利用時間や利用回数に制限を設ける。
 - ・ 重症化のハイリスク者である高齢者や基礎疾患のある人等に対して利用を控えていただく。
- 事前予約制にして利用者・ヘルパーを特定し、連絡先・当日の体温などを把握し、1か月以上保管しておく。（利用者に感染者が出た時の対応時に必要）
 - ・ 利用日は当面の間「週3日（火・木・土曜日）」とし、更衣による人の重なりを防ぐため利用できる時間を①13：20～14：20②13：30～14：30の利用枠とする。
 - ・ 一つの枠につきそれぞれ男1名、女性1名で1日4人までとする。（介助者除く）
- 症状のある方の利用制限等に関する事前告知をする。
 - ・ 発熱・咳・のどの痛みなどの症状があるなど、体調不良の方は利用できません（体温測定は、自宅での検温や当日測定などにより実施）。
 - ・ 行政機関より外出の自粛を要請されている方は参加できません。
 - ・ 入館時にマスクの着用と手指の消毒を行ってください。
 - ・ 当センターを利用後にPCR検査で陽性になった場合は、当センターに速やかに連絡してください。
 - ・ 利用時、大声での会話や握手、対面での会話などは避けてください。

- ・ 帰宅時、自分のごみはお持ち帰りください。(感染予防のため)
- ・ 顔色が悪い、頻回に咳をするなどの利用者は、利用中であっても必要に応じて中止をお願いする場合があります。
- ・ 消毒・衛生の観点から、プールから上がってからシャンプー・リンス・ボディソープ等の使用はできません。シャワー水のみで体を洗い流して、すみやかに更衣してください。(時間短縮にもつながりますのでご協力ください)
- ・ 利用時間 60 分は、必ず守って下さい。決められた時間には退出をお願いします。(遅れて来られた時も利用時間の延長はありません。)

2 当日の会場設営

- 受付時には、事前予約表と照会し、利用者、利用時間に間違いがないか確認する。
利用者・ヘルパーの検温・健康チェックを行う
(発熱・咳・のどの痛みなどの症状の確認)。
- 使用できるロッカーは制限する。(使用しないロッカーは事前に施錠する)
- 利用者には、お互いの距離をできるだけ2m(最低1m)を確保できるよう声掛けする。
- 更衣室の入り口を開放し、空気の流れを遮断しない。入り口にカーテンを配置する。
- 更衣室内のドライヤーは、撤収する。

3 当日の注意点

- 「飛沫感染、接触感染を防ぐための徹底した対策」を行う。
- プール会場の換気は、東西にある2つの窓を全開にして常に空気の流れをつくる。
- 利用者・ヘルパーは、入館時にマスクまたはフェイスシールド等を着用する。
- 利用者・ヘルパーは、入館時に検温・手指消毒を行う。
- 利用者・ヘルパーは、廊下やロビーなど、館内での会話はできるだけ控える。
- 利用者・ヘルパーは、館内での食事は控える(水分補給は可能)。
- ヘルパーは、プールサイド又は食堂内の一部限定エリアで待機し、利用者に特変があった場合は対応をお願いします。

以 上